

# 北海道創生ジャーナル「創る」の発行

## 受賞者

当時の所属	現在の所属	職名	氏 名	
総合政策部 地域創生局 地域戦略課	総合政策部総務課	主任	日野石 達也	ひのいし たつや
	総合政策部政策局	主任	山下 賢一	やました けんいち
	同左	主事	横浜 賢	よこはま さとる
	同左 (むかわ町派遣)	主任	貝澤 将	かいざわ まさる
	総合政策部空港 運営戦略推進室	主任	樋口 晶丈	ひぐち あきひろ
総合政策部 地域創生局 地域政策課		主事	八木橋 真維	やぎはし まい
	総合政策部 地域振興局 地域政策課	主事	高田 誠	たかだ まこと
		主事	西本 勝和	にしもと まさかず
		主事	境谷 悠伽	さかいや ゆうが
	同上 (大樹町派遣)	主任	大門 英人	だいもん ひでと
	総合政策部地域 振興局市町村課	主事	山根 慶子	やまね けいこ

## 概要

- **広大な面積**に179の市町村を擁する本道で、地域創生の取組を着実に推進するためには、**道内各地の先進事例や成果を上げている取組を広く波及**させることが必要。
- このため、市町村や民間企業をはじめ、広く道民の方々と**人口減少問題に関する課題や取組の成果を共有**するための情報媒体として、**平成28年12月に北海道創生ジャーナル「創る」を刊行**。
- 以降、年4回のペースで継続発行。道内全市町村や国、大学等に配付しているほか、道ホームページ上で公開。
- 誌面の制作に当たっては、外部委託せずに、**企画、取材、編集を全て、若手職員が実施**。

## 参考

### 「創る」発行による **3** つの効果

#### 1 成果や課題の共有

市町村職員の皆さまをはじめ、道内各地域で「北海道創生」に向けて取り組まれている方々と成果や課題などを共有。

#### 2 道外への情報発信ツール

首都圏の企業と道内市町村を結びつけるプロジェクトでの説明資料や、国をはじめ各方面に対するPR媒体として活用。

道ホームページのほか、ソフトバンク(株)の協力により、同社が運営する地方創生支援サイト「ぱわふる」上でも紹介され、全国の自治体などにもPR。

#### 3 業務に対する関心と経験値の向上

企画、取材、編集を職員自ら実施することで、各地域のプロジェクトが他人事から自分事に。

取材などを通じて構築した人的ネットワークや知識などは、通常業務にも活かすことが可能で、職員のスキルアップに大きく貢献。

誌面では、行政による取組だけでなく、各方面で**活躍する皆様**の声を紹介



▲ 記事の一例  
第2号 和寒町取材



▲ 若手職員による取材の様子  
第5号 むかわ町取材



北海道創生の取組を  
～「創る」編集チームの想い～ **点から面へ**

# ShiriBeshi留学の実施

## 受賞者

後志総合振興局地域創生部地域政策課 (現：渡島総合振興局産業振興部水産課 係長)	係長	にいやま ひろふみ 新山 博史
同上	主査	あらき ゆうすけ 荒木 祐亮
同上	主事	あきほ さおり 秋保 沙央里

## 概要

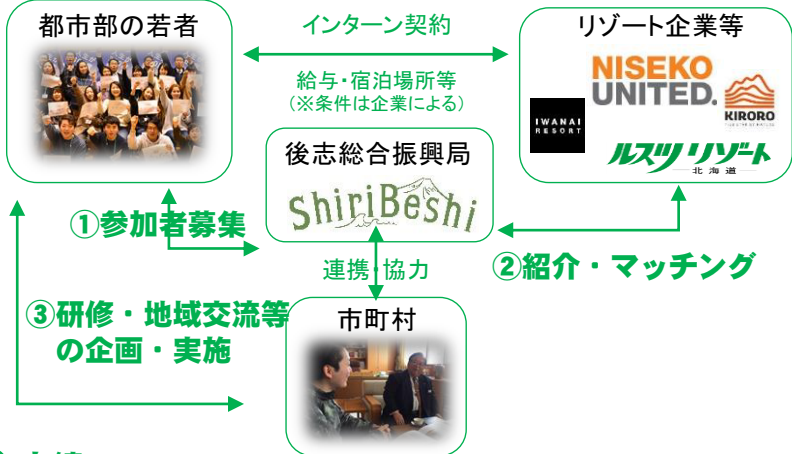
### ● ShiriBeshi留学とは？

「国際性・多様性豊かなインバウンド先進地」である後志・ニセコエリアで、リゾート企業等でのインターンシップや地域交流等を通して学ぶ都市部の若者を対象とした国内留学プログラム。



後志・ニセコエリアが「国内留学の拠点」と道内外に認知されることにより、新規事業参入(企業研修等)、人材確保(UIターン)、高等教育機関誘致等をを目指す。

### ● 事業スキーム



### ● 実績

事業開始(平成29年1月)から冬と夏にそれぞれ実施(計5期)  
累積参加者:104名、受入企業:30社、受入自治体:6市町村

## 参考

### ● 主なプログラム



【事前・事後研修】  
同期メンバーと共に、参加目的や期間中の経験等を共有し、意識を高め合う。

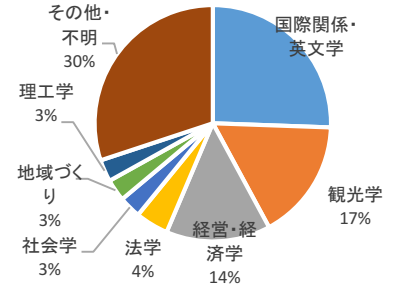


#### 【地域交流】

地元の人と交流し、地域を理解することが目的で、役場を訪問し、首長から地域づくりの講話を聞いたり、地元の高校生や移住者、経済人らと交流し、意見交換を実施。写真は、ニセコ町片山町長からの講話(左)とニセコ高校生による環境エコツアーの様子。



### ● 参加者の属性と体験談



「海外留学をしていた時以上に英語を使った。」  
(米国留学帰り、Sさん)  
「海外に一步踏み出せないという人はニセコが最初のステップとしてちょうどいい。こんなに英語漬けになるのに安心感があり、緊張しない。」  
(札幌在住、Hさん)  
「プログラムに参加して北海道が好きになり、道内の企業で働くことになりました！(1ターン)」  
(東京在住、Tさん)

### ● インターン受入企業



就業先は、ホテル、飲食店、小売店、不動産管理、スキー場、メディア運営等。滞在先は、多くの外国人スタッフと同じ社員寮の場合が多く、日常的に国際交流ができる。



HTM (株) 取締役  
クリス・ピッカリング氏

「ニセコは、外国人にとっては、大きなブランドであり、人は集まりやすいが、より価値を高めるには、日本人スタッフが必要。日本人には、ニセコや倶知安は認知度が低く、苦労していたので、こうした取組はありがたい。」

### ● その他の波及効果



札幌学院大学(左)、北星学園大学短期大学部(右)とグローバル人材育成に係る連携協定を締結。



倶知安町内経済人有志により「ShiriBeshi留学を応援する会」を結成(協賛企業・個人計27団体)。写真は、設立趣意書(左)と事後研修終了後に有志の会が開催してくれた真冬の屋外BBQ(右)。